



～メール～

神奈川県秦野市教育委員会
〒257-8501 秦野市桜町1丁目3番2号
0463-84-2783 文責 佐藤直樹

☆第7波を乗り切るために☆

皆さんこんにちは！前回の発行は5月でしたが、あっという間に夏休みを迎えることとなりました。おかげさまで、5月から6月にかけて**中学校9校の修学旅行が無事完了**しまして、これまで様々感染対策にご尽力いただいた各校の校長先生はじめ先生方には大変感謝しております。参加した中学生の声を伺いますと、その多くが「参加出来て良かった」という声だったと報告もいただきました。残念ながら体調不良等で参加できなかった生徒さんもいらっしゃるようですが、今年度のコロナ対策の方針は「教育活動を止めない」としてきたことから、2年ぶりに中学校9校で修学旅行が実施できたことは、中学校で長年勤務してきた私にとっても大変嬉しいことでした。保護者の皆様のご理解とご支援、そして各校の先生方の苦勞に改めて感謝を申し上げます。

さて7月に入り全国的にも感染者数が増加し、本市においても、夏休み前から同様の傾向となっています。夏休みとなりましたが、教育委員会では2学期の教育活動について、各校に様々検討をお願いしたところです。

ご承知のとおり、9月3日からは小学校13校の修学旅行が始まります。児童・生徒並びに保護者の皆様には**夏休み中も基本的な感染対策と特に6年生は夏休み後半の健康観察をしっかりと行うことを、そして校長先生方にはコロナ禍も3年目となりますので、今後の教育活動を止めないよう各校の実情に合わせて教育活動を工夫**することもお願いしたいです。

今月11日には、神奈川県において新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、本市においても第52回の対策本部会議において新型コロナウイルス感染症の現状報告と県の対応をもとに様々な協議が行われました。対策会議の中では、ワクチン接種推奨と県民行動へのお願い等も

ありましたが、ワクチンについては、家庭のお考えもあると思います。

その他としましては、夏休み中も、かねてからお願いしています**食生活も含め免疫力が高まるような工夫と県民行動への理解と換気の徹底も含め基本的な感染対策への理解**を夏休み中も保護者の皆様・先生方をお願いしたいと思います。

県民行動へのお願い のどの痛み せき 頭痛 発熱などの症状がある場合

- 1 **7日間**はできるだけ人と会わないようにする。
- 2 **抗原検査キット**を活用したセルフチェック励行。
- 3 学校や職場は**症状が無くなるまで休む**。
- 4 基礎疾患や重症化リスクのある人と接する場合には**積極的検査**を行う。



日立サンディーバ
清原選手の金メダル

日本一の中学校給食を目指して

7月1日発行の広報「はだの」や新聞タウンニュース等でも掲載ありましたが、現在、中学校給食では中学生や保護者は勿論のこと、給食事業に携わる生産者や商業者から自慢の献立を募集し、様々なアイデアを取り入れながら、市民総ぐるみで生徒が喜ぶ中学校給食の実現に努めたいと考えています。

対象は生徒・保護者、市内生産者、市内商業者としており、応募のあった献立の中から最優秀献立、優秀献立を決定します。既に募集期間中で締め切りは7月29日（金）ですが、今からでも、ぜひ声を掛け合って応募をお願いします。

私も「第2回ふるさと秦野食育DAY」の7月4日には南が丘中学校にお邪魔をしまして、夏野菜カレーを試食し、代表の生徒さんとの意見交換を行い、「麺やパンを増やしてほしい」「デザートがあると良い」等の率直な意見も頂きました。

当日は南が丘中学校卒業生の栄養士小河さんの、ワンポイント食育講座も開かれたこともあってか、この日の同校のアンケートでは「美味しい やや美味しい」という評価が90%を超えました。引き続き、生徒の意見も取り入れながら秦野っ子の食育推進を図ってまいります。

詳細は
ホームページに



南が丘中学校での意見交換会の一コマ

夏休みの一口メモ

各校では夏休みに様々な宿題が出されています。児童や生徒の皆さんにとっては大変だとは思いますが、**教育長としてぜひ取り組んでほしいのが、市の生涯学習課が主催する「親子川柳大会」、図書館が開催している「前田夕暮子ども短歌大会」そして教育研究所の「ふるさと秦野検定」と「秦野っ子アワード体験活動部門」**です。いずれも秦野の良さを改めて知る特色ある教育活動です。是非とも**市のHP**を見て参加してみてください。



<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000001583/index.html>

秦野の先生方を応援しよう！デジ田甲子園にICTマスター出場！

現在、秦野市のICTマスターとなる54名の先生方の取り組みが神奈川県代表として、首相官邸のHPに掲載されています。右下のQRコードを読み込むと、そのページに進むようになっていて、応援していただける場合には投票が出来る仕組みになっています。メールアドレス等打ち込む必要はありますが、是非ご家族で動画をご視聴いただき、先生方の取り組みを応援していただけましたら幸いです。

この企画は、誰一人取りのこさないデジタル社会の実現を目指す「デジタル田園都市国家構想」推進の方策です。構想の実現に向けた地域の取組を広く募集し、特に優れたものを表彰する「Digi田(デジデン)甲子園」として開催されています。この度、本市のICTマスター制度が神奈川県代表に選ばれ、現在8月15日まで専用サイトによるインターネット投票期間となっています。

ぜひ専用サイトで本市の動画を見ていただき、秦野の小中学生・保護者・先生方には54名の先生方への一票をお願いいたします。投票は[こちらからお願いします。](#)⇒⇒⇒⇒



実装部門（上記を除く市）

●秦野市ICTマスター制度を活用した小中学校でのICT活用の推進

▶取組概要 (PDF/226KB)



・秦野市では、市内の小・中学校でICT活用を積極的に行う教職員を「ICTマスター」として委嘱し、デジタルを活用した新たな学びのスタイルを作っています。子供たちの未来に繋がる取組みをぜひご覧下さい。

見てね！

☆第40回教育研究所発表会について☆

教育委員会では、学校教育の充実を目指し、各校から推薦のあった意欲的な先生方に、様々な研究をお願いしています。毎年8月には、先生方の成果を市全体で共有するために発表の機会を設けており、今年は8月22日（月）に開催が予定されています。中央会場には教育委員さん・市議会議員の皆さん、また各中学校区会場では学区の公立園等・小中学校教職員、その他民間の幼児教育関係の教職員等にも参加を呼び掛けています。さらに現在保護者等も含めて一般市民の方々にもオンラインで視聴が可能なように調整しています。

発表内容は、第1部が「園小接続カリキュラム研究会」並びに「ICTマスターについて」、第2部が「秦野ふるさと科創設に向けた研究について」並びに「義務教育学校設立に向けた小中一貫教育マネジメント推進研究会」となっています。尚第2部終了後には、長年本市のアドバイザーをお願いしております東京大学大学院の藤江教授から指導助言をいただく予定です。

☆園小接続カリキュラム研究会☆

小学校入学後に、新たな学びのスタイルへの適応が円滑となるよう義務教育前から小学校入学後のカリキュラムについて民間園も含めたオール秦野の研究

みどり保育園 井伊園長先生 堀川小学校 山田校長先生

にここ保育園 梅原園長先生 上小学校 保坂先生

ひろはたこども園 持田副園長先生 東幼稚園 神谷先生

☆秦野ふるさと科創設に向けた研究部会☆

郷土を愛する子どもたちを育むため、新たに地域に根ざした「ふるさと科」創設に向け研究

令和3年度

大根小学校 高橋先生 西小学校 永瀬先生

大根中学校 竹田先生 西中学校 倉澤先生

鶴巻中学校 星崎先生

令和4年度

本町小学校 加藤琢也先生 末広小学校 清水先生

西中学校 吉田先生 渋沢中学校 手登根先生

☆小中一貫教育マネジメント推進研究会☆

小中学校が一貫して子どもたちの学びを支える学校運営の在り方について研究

大根小学校 平井教頭先生 南中学校 宮田教頭先生

渋沢小学校 関野教頭先生(現東中教頭)

大根中学校 山口教頭先生(現大根中校長)

耳寄りな話

中学校3年生は面談も終わり、部活動も引退すると、いよいよ**進路に向けてスタート**することになります。まだまだ先の話ですが、**高校入試合格後の手続きにマイナンバーがあると便利**とのこと。まだお持ちでない方！夏休みの高校見学と同じように受験生としての意識啓発にも夏休み中の手続きは良い機会かもしれません。

☆子どもファースト☆

前回「教育は人なり」について書きました。今回は「子どもファースト」です。こちらも新採用の先生方と新しい校長先生方に贈っています。「**教師の職務は子どものためにある**」こと、そして**教育の原点は人権意識にある**としています。「誰もが輝く暮らしよい都市（まち）」の学校教育にあって、その共通理念とも考えています。特に、コロナ禍にあって「**教育活動を止めない**」という方針も**子どもたちにとってどうかという視点**で判断するよう、各校長先生方にお願いしています。